

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	姉妹都市自然体験交流事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	04	02	64
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市内の小学校5、6年生児童30名	意図	姉妹都市である石川県能登町での豊かな体験を通して、子ども達的情操を育み、能登町の児童との交流を図る。
事業内容	能登町への自然体験学習ツアーの費用のうち、約半額を助成する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度より姉妹都市自然体験交流事業が始まった。海と漁村で過ごす貴重な体験交流活動を3泊4日で実施している。参加費用が高額なため、年々参加児童が減少していったが、平成26年度より市が約半額の助成をしたところ、定員を超える応募があった。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		① 参加人数			30	人	→→
② 参加率				100	%	→→	参加人数÷募集人数
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	能登町での体験を通して身に付けたことを、児童が各学校・地域等で活用することができる。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>この事業を広く周知するため、「広報ながれやま」に募集要項を掲載したり、各学校で能登町が作成したチラシを配布している。</li> <li>この自然体験学習ツアーの成果のまとめとして、参加児童に感想文を提出してもらう。</li> <li>助成をすることで、より多くの児童が豊かな自然を体験し、能登町児童との交流を深めることができている。</li> <li>市の広報で周知することで、姉妹都市との交流事業への理解を推進するとともに、児童が豊かな体験をする機会を作っていることを市民に伝えている。</li> </ul>			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,252,560				
事業費(b)(円)			1,252,560				
うち一般財源			1,252,560				
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】	③取り組みの課題	実施期間中に事故が発生した。安全に実施されるよう委託先の選定や実施内容について能登町に要望する必要がある。また、参加者が急増し、公募の仕方や抽選方法を検討する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	【新規事務事業により記載なし】	④今後の改善計画	安全性や公募の仕方等について説明会を実施し、安心安全に参加してもらえるよう理解を求める。